

社会福祉法人 あいのわ福祉会

あかしあ

AKASHIA

社会福祉法人 あいのわ福祉会
あかしあ
 AKASHIA

平成23年度上半期の各事業所の事業報告・決算報告（案）及び前記議案についてご審議をいただき、全ての議案が原案通り承認されました。

東日本大震災から8か月余りが経ちましたが、この間法人といたしましても被災地への福祉専門職としての職員派遣、物的支援、各施設では復興支援バザーを開催しました。また、震災の教訓を生かし法人全体の防災対策の見直しを進めております。自然の脅威を改めて実感した年でしたが、障がい福祉の分野では8月に障がい者制度改革推進会議総合福祉部会より障害者総合福祉法（仮称）骨格提言素案が発表されました。早期制定が期待されるところです。

また、今回の理事・評議員会では、法人の中期経営計画（案）が発表されました。今後も更に検討を重ね、着実に計画を履行していくことを考えております。

年末を控え慌ただしくなつてまいりましたが、ご支援とご指導に感謝申し上げますとともに、明年もよろしくお願ひ申し上げます。

- 発行者 社会福祉法人あいのわ福祉会 理事長 岸本美恵子
- 連絡先 〒121-0012 東京都足立区青井4-30-5
電話 03(3849)1188
FAX 03(3849)7001
- 印刷足立区大谷田就労支援センター
法人ニュース「あかしあ」隔月25日発行

平成23年度 第2回評議員会・理事会報告

- ・開催日 平成23年11月29日（火）
評議員会 16時～17時40分
- ・理事会 17時45分～17時55分
- ・場所 東京マリアージュ
- ・報告事項
- ①あいのわ支援センター谷中での「生活介護事業」開設について
- ②足立あかしあ園の外壁改修工事等工事について
- ③あいのわ福祉会「中期経営計画」について
- ・議案
- 第1号議案 平成23年度上半期事業報告・決算報告（案）について
- 第2号議案 規程の制・改訂について
- 第3号議案 竹の塚あかしあの杜改修工事について
- 第4号議案 平成23年度第1次補正予算について
- 第5号議案 平成23年度決算前処理について

平成23年9月9日から9月17日までの9日間、ソウエルクラブの海外研修に参加させていただきました。スウェーデンでは脊髄損傷の方が中心のリハビリ施設と、重度知的障がい者のデイケアセンター、フランスでは、児童から高齢者までの複合的な職業訓練センターと児童の身体的機能回復のリハビリや生活機能訓練を行う施設に見学にいきました。

福祉の先進国と言われる国で、どの施設も障がいのある方に対し、専門的な知識や技術に裏付けされた丁寧で系統立てられた支援を行っていました。支援技術や施設の形態、障がいのある方の状況等に關しては、日本と大きな差はありません。大きな違いは、本人支援の意識の部分や、制度の違いでした。私は今回の研修で改めて「自立とは」ということを学ばせていただきました。

私自身も日常の関わりの中で、「自立」「自己選択」「自己決定」ということは意識しているつもりでした。支援者側や関係者がこのことを意識して関わっています。しかしスウェーデンでは、パーソナルアシスタント制度という、ご本人のニーズに応じてできない部分を支援する派遣制度があります。これはご自身がパーソナルアシスタントと直接雇用契約を行うそうです。重度の障がいの方も利用されています。サービスを利用する側の責任のあり方の一つだと思いますが、日本では「利用している」枠の中に留まっています。その中の自己選択、自己決定は支援者側の主導で行っているのが多く見受けられます。また脊髄損傷のリハビリ施設では、障がいのある方がインストラクターを務め、利用者の復帰のモデルとして、生活の様々な面でご本人に助言をしていました。

両国とも、個人の自立・責任という意識が社会の中に根付いているため、能力を伸ばして社会復帰に繋げるという意識が、関係者だけではなく、障がいのある方も高く持っていました。我々は日頃の支援において、サービスを提供する関係性の中で、どうしても一方向の支援になりがちです。日本の習慣や国民性等もあり同じ考え方を持つことはできませんが、本来「自己選択」「自己決定」ということがどのようなことかということを改めて考えていく必要性を強く感じました。

ソウエルクラブ海外研修報告

足立あかしあ園だより

夏日があつたかと思つたら、急に寒くなりバタバタと秋から冬へと向かつていることを感じます。大きく変化する気候に体調を整えることが難しい毎日ですね。

10月18日には、

Dグループが池袋

サンシャインシティの水族館へ出かけきました!

大人の雰囲気のあるレストランで

ゆつくりおいしい

料理に舌鼓を打ち、屋上の水族館

へ♪色とりどりの

魚たちや、水の流

れの壁のある通

り、幻想的なクラ

ゲのトンネルに皆

さん目を丸くして

楽しんでいらつし

やいました!

また、10月29日

(土)には「東日本大震災ふれあい支援バザー」を開催いたしました!



今年は例年の
「ふれあいフェスティバル」とは異なる義援バザーと
いうことで一つ一つに復興支援の思いを込めて準備をしてきました。

出店や笑顔の絵の製作、当日運営でのボランティア等では地域の方々にたくさんのご協力をいただき、感謝しております。ありがとうございます。

（森）

復興を願い製作した大漁旗や心をこめて利用者の皆さんと書いた絵やメッセージ、またお客様にご協力いただいた壁一面の寄せ書きを、風に乗せて被災者の方々お一人お一人の心に届けようとした

今年は例年の
「ふれあいフェスティバル」とは異なる義援バザーと
いうことで一つ一つに復興支援の思いを込めて準備をしてきました。

（森）

今年は例年の
「ふれあいフェスティバル」とは異なる義援バザーと
いうことで一つ一つに復興支援の思いを込めて準備をしてきました。

出店や笑顔の絵の製作、当日運営でのボランティア等では地域の方々にたくさんのご協力をいただき、感謝しております。ありがとうございます。

（森）

復興を願い製作した大漁旗や心をこめて利用者の皆さんと書いた絵やメッセージ、またお客様にご協力いたしました。

（森）

（森）



綾瀬あかしあ園だより

10月に入り、日が落ちるのが、すっかり早くなり、冬が近づいている事を感じます。

綾瀬あかしあ園では、来年度へ向けての準備を進めています。グループ再編成が大きな動きとなります。

（森）

綾瀬あかしあ園では、来年度へ向けての準備を進めています。グループ再編成が大きな動きとなります。

（森）

（森）



朝の寒さが身にしみて、起きるにもなかなか布団から出るに出られない季節になりました。

9月の話になりますが、竹の塚あかしあの杜きずなでは買い物班の大外出が事故もなく無事に行われました。買い物班では欲しいものが何でもそろつて、美味しいものが食べられて、1日

10月は行事づくしで、「たくみにふえすていばる」では、職員による華麗なダンス披露＆被災地の物産を多く取り入れた大

バイキングを行い、お腹も心も満たされた一日となりました。太田施設長のピンクレディーは、なんともインパクト大！でした。

（森）



中楽しめる「越谷レイクタウン」にバスで行つてきました。車中ではボランティアさんと楽しそうに話しをしていました。何を買って何を食べるのかを考えている利用者の方々がありました。

現地に着くと早速、目的のものを購入する為に行動する方、まずは腹ごしらえと昼食を何にするか選ぶ方、ゆっくりとウインドーショッピングを楽しまれている方もいました。

同行した職員から利用者の方々の様子を聞くと、やはり食事をしている表情が印象的だったそうです。バイキン格でおかわりし、お腹いっぱい大満足した方、老舗ハンバーグを堪能した方等と、大外出を利用者の方々は個人個人で満喫され、杜に帰ってきた皆さんには疲れた表情は見せず、にこにこと笑顔がとても輝いていました。帰ってきた後も、お土産話で盛り上がっていました。

さて今後の杜では、アウトドア班・行楽地班・イベント班と大外出が目白押しとなっています。更に、被災地派遣も継続して10月から11月にかけて行う予定です。冷える季節になりますが寒さに負けずに元気モリモリ、楽しく過ごして頂けるよう、頑張ります!みなさまもお体には十分に、お気をつけをお過ごしください。

(関)

竹の塚あかしあの杜のぞみ
(生活介護通所) だより

の杜では、9月16日に利用者企画のイベントがありました。今回のイベントでは、午前中に音楽クラブの発表をしました。曲は、K A R A の「ミスター」・いきものがかりの「ありがとう」・A K B 48の「会いたかった」を演奏しました。明るい曲調だったので、すごく盛り上りました。

さて今後の杜では、アウトドア班・行楽地班・イベント班と大外出が目白押しとなっています。更に、被災地派遣も継続して10月から11月にかけて行う予定です。冷える季節になりますが寒さに負けずに元気モリモリ、楽しく過ごして頂けるよう、頑張ります!みなさまもお体には十分に、お気をつけをお過ごしください。

今回の外出では、お台場や池袋のサンシャインシティなどさまざまな場所で目標を立てて



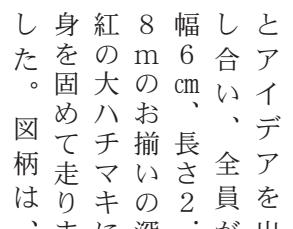
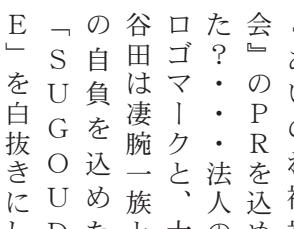
竹の塚あかしあの杜のぞみ (生活介護通所) だより

11月にはバス外出があります。作業グループは浅草観光で、創作グループは葛西臨海公園です。今から計画を立て楽しみにしています。(和田)

大谷田就労支援センター 大谷田ホームだより

10月16日(日)、荒川河川敷で開催されたタートルマラソンに、総勢21名で参加しました。

大谷田のマラソン大会参加のきっかけは、2年前にホームに入居された方の「俺も昔は走っていたんだよ。」の一言で始まりました。当初は職員3名、ホーム入居者1名の挑戦でしたが、3年目の今年はセンターユーザー利用者5名、ホーム入居者2名、職員14名、伴走者4名の大所帯となりました。



おり、タイムの短縮、完走などチャレンジする気持ちを持つて参加される方、「昔の俺は・・・」など、自分の衰えを感じながら今後の人生に活かす?方、目標は人それぞれです。

「どうせ走るなら目立とうぜ!」とアイデアを出し合い、全員が幅6cm、長さ2.8mのお揃いの深紅の大ハチマキに身を固めて走りました。図柄は、「あいのわ福祉会」のPRを込めた?・・・法人のロゴマークと、大谷田は凄腕一族との自負を込めた「S U G O U D E」を白抜きにし



ました。他のグループにも目立ちたがりやが多く、動物の着ぐるみやタイガーマスクのお面、ナースの制服で走る人など、様々なコスチュームで楽しく参加されていました。しかし今年は気温が高く、そのコスチュームが裏目に出てしまった方が続出したようです。

当日は雨の予報が立てられていましたが30℃近い真夏日になり、蒸し暑く風も無い、マラソンには酷な陽気に一転しました。給水所は人ばかりとなり、熱中症で23人の方がリタイアされていました。大谷田から参加したメンバーは疲労度はありましたがあれども全員が無事に完走し、爽やかな笑顔を振りまいていたのが印象的でした。

この大会には、様々な障がいを持たれている方がチャレンジされていました。「できない」と決め付けることはややすく簡単なことですが、どうすればできるのかを考えチャレンジする気持ちを持つことは良いことだと思います。一生懸命取り組んでいる姿は周囲に勇気を与えてくれます。24時間テレビを見て共感することも良いこととは思いますが、是非自らチャレンジして欲しいと感じています。

理事長、副理事長をはじめ、父母の会の皆さんからの差し入れや休憩場所のご提供ありがとうございました。来年も、大谷田は気合を入れて「ダートルマラソン」に挑戦します。(加藤)

人など、様々なコスチュームで楽しく参加されていました。しかし今年は気温が高く、そのコスチュームが裏目に出てしまった方が続出したようです。

当日は雨の予報が立てられていましたが30℃近い真夏日になり、蒸し暑く風も無い、マラソンには酷な陽気に一転しました。給水所は人ばかりとなり、熱中症で23人の方がリタイアされていました。大谷田から参加したメンバーは疲労度はありましたがあれども全員が無事に完走し、爽やかな笑顔を振りまいていたのが印象的でした。

この大会には、様々な障がいを持たれている方がチャレンジされていました。「できない」と決め付けることはややすく簡単なことですが、どうすればできるのかを考えチャレンジする気持ちを持つことは良いことだと思います。一生懸命取り組んでいる姿は周囲に勇気を与えてくれます。24時間テレビを見て共感することも良いこととは思いますが、是非自らチャレンジして欲しいと感じています。

理事長、副理事長をはじめ、父母の会の皆さんからの差し入れや休憩場所のご提供ありがとうございました。来年も、大谷田は気合を入れて「ダートルマラソン」に挑戦します。(加藤)

神明福祉園だより

先月、日帰り旅行にディズニーランドへ行つてきました。3班に分かれて出掛けたのですが、3日間とも天候に恵まれて(残暑がきびしく暑かつたぐらいです)、地震の心配もありましたが、無事に行つて帰つて来ることができました。



1班目の、ゆつたり組は、到着して真っ先にお揃いのデザインのTシャツを購入して、すぐに着替えてパ

ークへ散策に出ています。ハロウイーンパレードでは、音楽とダンスに次第に気分も盛り上がりつてきて、体全体で楽しみました。

2班目の、ほのぼの組は、到着して早めに昼食を摂つてから、各々のペースに合わせて行動しました。ア



楽しんだ方、おやつに目を奪われた方、おみやげ購入に夢中になつた方等・・・それぞれの楽しみ方で満喫しました。

3班目の、のびのび組は、到着してまず全體で記念撮影をしてから、各グループに分かれて、行動を開始しました。昼食をすぐに済ませて、パーク内を元気に動き回りました。1つのグループでは、上手にバスを使って、人気のアトラクションを制覇していました。

さて、旅行行事を終わり、福祉園では、11月のお祭りに向けての準備に大忙しです。今回は被災地支援を兼ねて、被災地の物品を販売する予定です。みなさまのご来園お待ちしております。

(北出)

神明デイサービスセンターだより



さて、旅行行事を終わり、福祉園では、11月のお祭りに向けての準備に大忙しです。今回は被災地支援を兼ねて、被災地の物品を販売する予定です。みなさまのご来園お待ちしております。

(北出)

秋も深まり、朝晩は冷え込むようになりました。季節の変わり目で体調も崩しやすい時期ですが、デイサービスの皆さんお元気で活動に参加していらっしゃいます。11月13日開催のイーストウェーブフェスティバルに向けて、発表会の練習や展示作品の作成に余念がありません。

恒例となつたアリオ亀有でのランチ外出もあと1回ですべての日程が終ります。これまで事故等なく無事に過ごせたこと、多くの方々のご協力をによることと、改めて感謝申し上げます。

10月31日に、演歌歌手の麻生直花さんがミニコンサートにいらして下さいました。美空ひばりさんの「川の流れのように」や「お祭りマンボ」はじめ、童謡など、利用者さんがよく知っている曲を多数披露して下さり、皆さん一緒に歌つたり、声援を送つたりと、とても盛り上がつた時間を過ごすことができました。

また今年度は中央本町の地域学習センターとの交流を始め、ミニコミ誌を持つてきて下さつたり、いろいろなサークル活動を紹介していただきたりと、社会参加の幅が広がつたように思っています。今後も地域の交流を広げながら、利用者さんが地域で充実した生活を送ることができるよう、職員も努力するつもりです。

この新聞が皆さんのお手元に届く頃は年末も近いことと思います。利用者さんも職員も心身の健康に気を配り、



寒い冬を温かな心で過ごしていけるようになります。（本間）

神明福祉作業所だより

ふと気が付くと今年もあと1ヶ月。
今年も色々あつたと振り返る時期ですね。

さて、福祉作業所の近況を紹介させていただきたいと思います。

ブでは第2回社会生活力アップセミナーを実施しました。今回のテーマは「セルフケア～身だしなみに気をつけよう～」です。スライドやチケット表を見ながら、みんなで普段の身だしなみを確認していました。



ポテトにして食べました。とてもあまりのおイモでした。

グループホームオハナだより

ポテトにして食べました。とてもあまりいおイモでした。

少し早いですが、来年もあおぞらグループ、かりんグループとともに作業、活動と楽しんで取り組んでいいことを思います。

(神田)

でも残念ながら体調不良のお友達がおり全員参加出来なかつた為、次回は全員揃つて、出かけたいと思つています。

あいのわ支援センターだより

月日が経つのは早いもので、あいのわ支援センター谷中が開設してもうまもなく1年が経とうとしています。昨年の今頃は、新しく出来上がった建物で、お部屋のレイアウトはどうしよう?食器はどんな感じにしようなど、これからご入居されるご利用者様の事

を職員一同毎日悩んでいた事を懐かしく思います。

あの頃は、まだ職員だけしかいなくひつそりとしていた谷中でしたが、ショートステイも始まり、ご利用者様12名とショートステイご利用者様と毎日賑やかで楽しい生活を送っています。

■タートルマフソン模擬店出店報告
今年は国際大会ということで、例年にも増して盛大でした。お疲れ様でした。関係者の皆様のご協力を感謝いたします。

てのんびりとお帰りになれるナイトケアのご利用も増えています。家庭的な空間で温かいお食事と入浴サービスのご利用はいかがですか？

皆様のご要望やご意見を取り入れながら、今後もよりよいサービスの提供に努めていきたいと思いますので、よろしくお願ひ致します。

(吉見)

思ひを持つて谷中に入居された事と申
います。日々、生活する中で新しい環
境にも慣れ、今では、誕生日会の企画
や外出の企画、旅行の企画等色々なお
話もわいてくる程です。谷中のみんな
での旅行もそう遠くない内に実現して
しまうのではないかと思える程です。
入浴サービスについては、少しずつ
ご利用されるお客様も増え、毎回い
る湯をご用意してお待ちしています。
これから時期は少し寒くなつてきま
すが、床暖房や各部屋に暖房を完備し
ておりますので、温かくご利用できる
よう整えております。

投稿欄

(俳句・川柳など募集中です)

手術終え ベットに寝かされ 戻り来る 我子の姿に 胸あつくなり
菊日和 運河通りに 植木市

佐々木きよ子
秋山 啓司

この一句

「柿くへば 鐘が鳴るなり 法隆寺」

柿は種類も多く、ほぼ全国的に分布している。栄養分も豊富で生活習慣病の予防にも効果があるといわれている。秋も深まり、遠くの山々には初冠雪もみられ、葉の散った梢には柔らかい朱色の実が青空に映える。よく見られる、日本の平穏な村里の原風景の一つである。(秋山)

後援会だより (平成23年9月～10月) 敬称略、順不同

◇特別会員 (1口1万円)

山下俊樹 (3口)、川名安之介、稻場和子

◇団体会員 (1口5千円)

六ツ木診療所 (10口)

◇個人会員 (1口3千円～5千円)
佐々木きよ子

◇寄付者

若林登紀子、大山光男、嘉藤良治、川俣豊、後藤守宏
佐久間庸夫、鈴木新一郎、村松信一、山本鑑一、渡辺和彦

竹の塚あかしあの杜「なごみ」 (平成23年9月～10月)

短期入所事業利用状況

利用人數	81名
延べ利用日数	300泊
内児童	10名
泊	36泊

編集後記

東日本大震災、原発事故そして台風と相次いで災害に見舞われた今年が、間もなく終わろうとしています。

震災から8か月、今もなお被災された方々を思うと胸が痛み失ったもののあまりの大きさに言葉もありません。

3月11日を境に故郷や絆について想いを新たにされた方も多いのではないでしょうか。

そして、ありふれた日常の大切さを再認識された方も多くおられたのではないでしょか。

被災された方々の一日も早い復興を祈るとともに、寒さが増してくるこれから季節、不自由のない生活が送れますことを切に願うのみです。

今年度、法人の各施設では、施設祭をはじめとする多くの行事を自粛し、支援活動(義援金、救援物資、職員派遣等)を積極的に行い、気持をお届けすることができました。

支援活動はこれからも継続的に取り組んでいかなければならぬ大きな活動の柱です。

今後も、「明日は我が身」を胸に、助け合いの精神を旺盛にして皆でがんばっていきたいものですね。

さて、今年も法人ニュースをご愛読いただきありがとうございました。
次年度もスタッフ一同気持も新たに読みやすい法人ニュースを目指してがんばりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

少し早いですが、皆さまには良いお年を!!

(磯前)

●後援会加入のおねがい●
当法人の事業及び運営施設の発展を願い、財政的な援助をしていくことを主とし
て後援会活動を行っております。
一人でも多くの方々にご賛同いただき、後援会への加入ご支援をお願い致します。
申し込み・お問合せは後援会事務局 電話(3849)1188まで